

地域密着型金融の取組事例について

タイトル：東日本大震災にかかる農業資金の創設 JA名：JAバンク宮城（宮城県）

1 動機 (経緯)	東日本大震災により県内農業者に甚大な被害が及んだことから、農業者の早期復旧・復興の支援を目的に宮城県内全JAで、独自の災害資金を創設しました。 また、福島第一原発事故による農作物の出荷停止、風評被害が発生した場合に備え、平成23年7月に「JAグループ宮城原発事故対策支援資金」を創設しました。						
2 概要	JA独自災害資金 創設資金数：27資金（宮城県内全14JA） JAグループ原発事故対策支援資金 貸出限度額：1,000万円 資金使途：原発事故による出荷停止、風評被害を受けた農業者に対して、賠償金が入金されるまでのつなぎ資金 上記2資金と宮城県制定「平成23年東日本大震災による農林業災害対策資金」に対し、JAグループ宮城（中央会、全農、全共連、農林中金）、JAバンク宮城（農林中金）が0.5%ずつ利子補給を実施し、被災農業者の負担を軽減しています。						
3 成果 (効果)	<貸出実行実績> JA独自災害資金 215件、634百万円 JAグループ原発事故対策支援資金 平成23年度については、実行実績はありませんでしたが、原発事故に伴う資金ニーズが拡大した場合に、すぐに対応できる体制を整備しています。 <利子補給実績>（平成23年12月末までの実行分に対して） <table border="1" data-bbox="411 1579 1088 1727"> <thead> <tr> <th>利子補給種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JAグループ利子補給</td> <td>704,917円</td> </tr> <tr> <td>JAバンク利子補給</td> <td>704,788円</td> </tr> </tbody> </table>	利子補給種類	金額	JAグループ利子補給	704,917円	JAバンク利子補給	704,788円
利子補給種類	金額						
JAグループ利子補給	704,917円						
JAバンク利子補給	704,788円						
4 今後の予定（課題）	平成24年度も引続きJA独自災害資金（一部資金については取扱い終了）、JAグループ原発事故対策支援資金の取扱いを継続し、JAグループ宮城・JAバンク宮城で計1%の利子補給を実施し、農業者の早期復旧・復興支援に取り組んでいきます。						